

あけぼの臨時ニュース

Breast Cancer Network Japan — あけぼの会

発行:あけぼの会 東京都目黒区東山 3-1-4-701 03(3792)1204
斉藤純代(編集) 下川恵子 島崎亮子(編集) 渡辺智恵子

●全国のあけぼの会のみなさん、こんにちは!

<あけぼの会>創立40周年記念大会、無事終わりました。補助席追加で714席が全部埋まりました。超満員!熱気が半端ではなく、最終回を飾るにふさわしい会になりました。全国から会長の最後の晴れ舞台を見に駆けつけてくださったみなさん、ありがとうございます!感無量です。本当に感動的ないい会でした。誰の胸にもあの感動は永遠に残るでしょう。何だか来年もまた同じ会場であんな会をしたいと思ったのは私だけだったかしら??

●6人の先生がたのご講演もわずか15分ずつとお願いしてあったので、超特急でしたが、とてもわかりやすく、充実していて、またそれぞれユニークな内容でよかったのです。普通は6つも講演を続けて聴くのは疲れますが、あの日はそんなには疲れなかった。先生がたもリラックスされていたのがよかった。会長は最初の挨拶で「勇退の辞」を朗々と述べて、会場が息がとまったかのような雰囲気でした。最後ですから、そうでなくちゃ。辞める覚悟は「もうやることをやったから」と自分の潔さを強調しました。

●それにしてもこれでおしまいと思うとさみしいですね。あの日は涙は一つも出なくて、誰かが「会長さん、泣かなければ」と言ったのですが、涙が出なかった。でも今、泣きたい気持ちです。終わりとか、閉じるとか、イヤですね。でも仕方がない。40年は長かった。でも、これからも<あけぼの会>は福岡の深野さんにバトンタッチされて、今まで通り続いて行きます。みなさんの応援がないと前に進めない、どうか応援よろしく。私つくづく思うのですが、この会は実にいい会です。こんな患者会は他にない、臆面もなく言います。

●今後は各県が完全に独立して、それぞれのリーダーがその地にふさわしい活動を進めて行ってくれます。そこでもみなさんの応援がないと一人ではできない。全員参加型ですね。思い起こせば、どれだけの地に行き、どれだけの人に会ったか、私は最高の幸せ者、みなさんに「会長さん、会長さん」と呼ばれて気分よかった。もうないのかなあ?飛行機にも汽車にも一人で乗って、どこでも行きましたね。結構、エライんじゃない?

●それでは全国のみなさん、いつまで喋っていても切りがない。また会う日まで、さようなら!どこでも呼んでください、出かけて行きます。だから、これがお別れではない。また絶対にお会いしましょうね。その日まで、誰もが、自分の地で、元気で、胸を張って堂々と「誇り高く美しく」生きていてくださいね。私もそうします。(2018/11/10) 【ワット】

